

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名：北海道十勝総合振興局 帯広建設管理部

事業の名称：帯広圏都市計画道路事業

3・3・46号弥生新道

実施都市名：北海道帯広市

事業目的

弥生新道は、帯広都市圏における1環状4放射道路の役割を担う都市計画道路である。当該工区は、弥生新道を南北に連結し、放射道路として帯広市内ととち帯広空港、十勝港との流通の円滑化を図るとともに、環状道路として国道38号と国道236号を結び、市内中心部の通過交通の分散による交通流円滑化と快適な歩行空間の形成を図るものである。また、環境に配慮した工法を選定し、市内に残る貴重な生態系の保全に努めている。

事業概要

事業名称: 帯広圏都市計画道路事業3・3・46号弥生新道

路線名: 道道幕別帯広芽室線

事業箇所: 帯広市西17条南5丁目～帯広市南町南7線

事業延長: 約1,200m

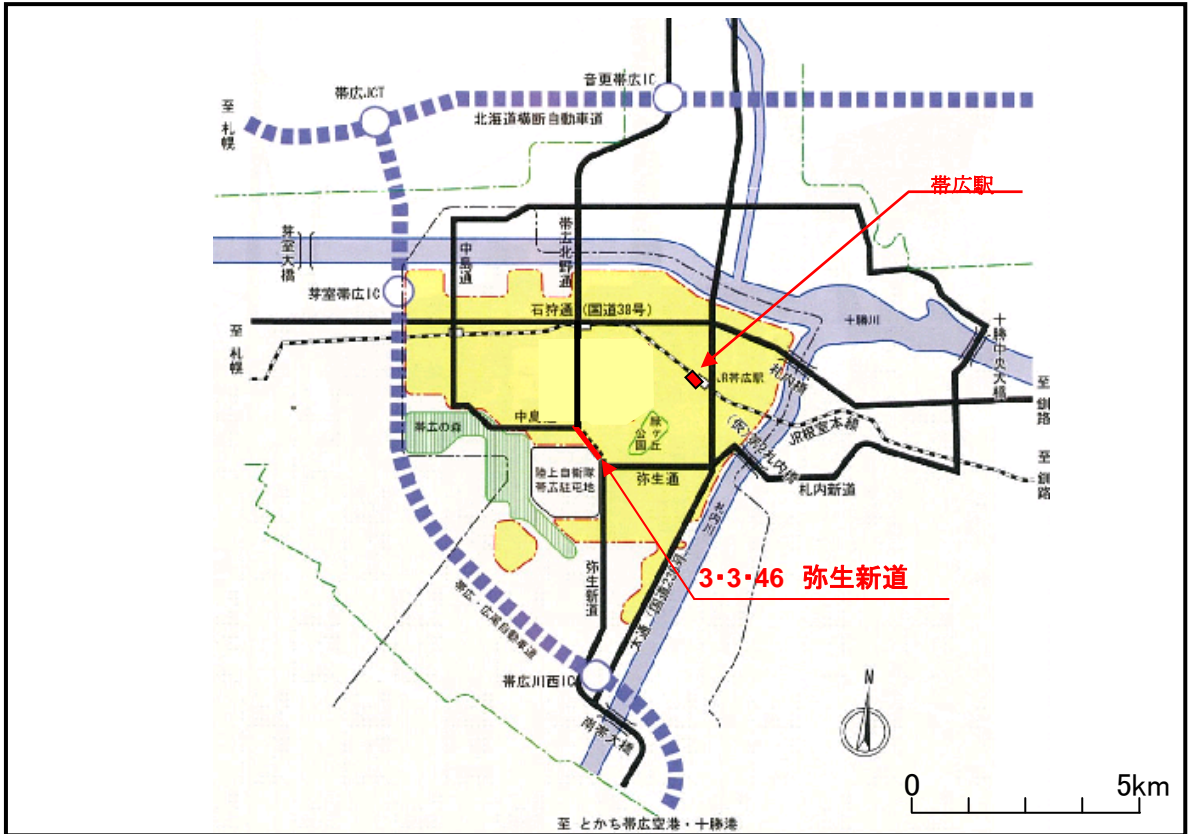
幅員: 幅員35～50m(車道22m 歩道6.5m×2=13m)

事業費: 約73億円

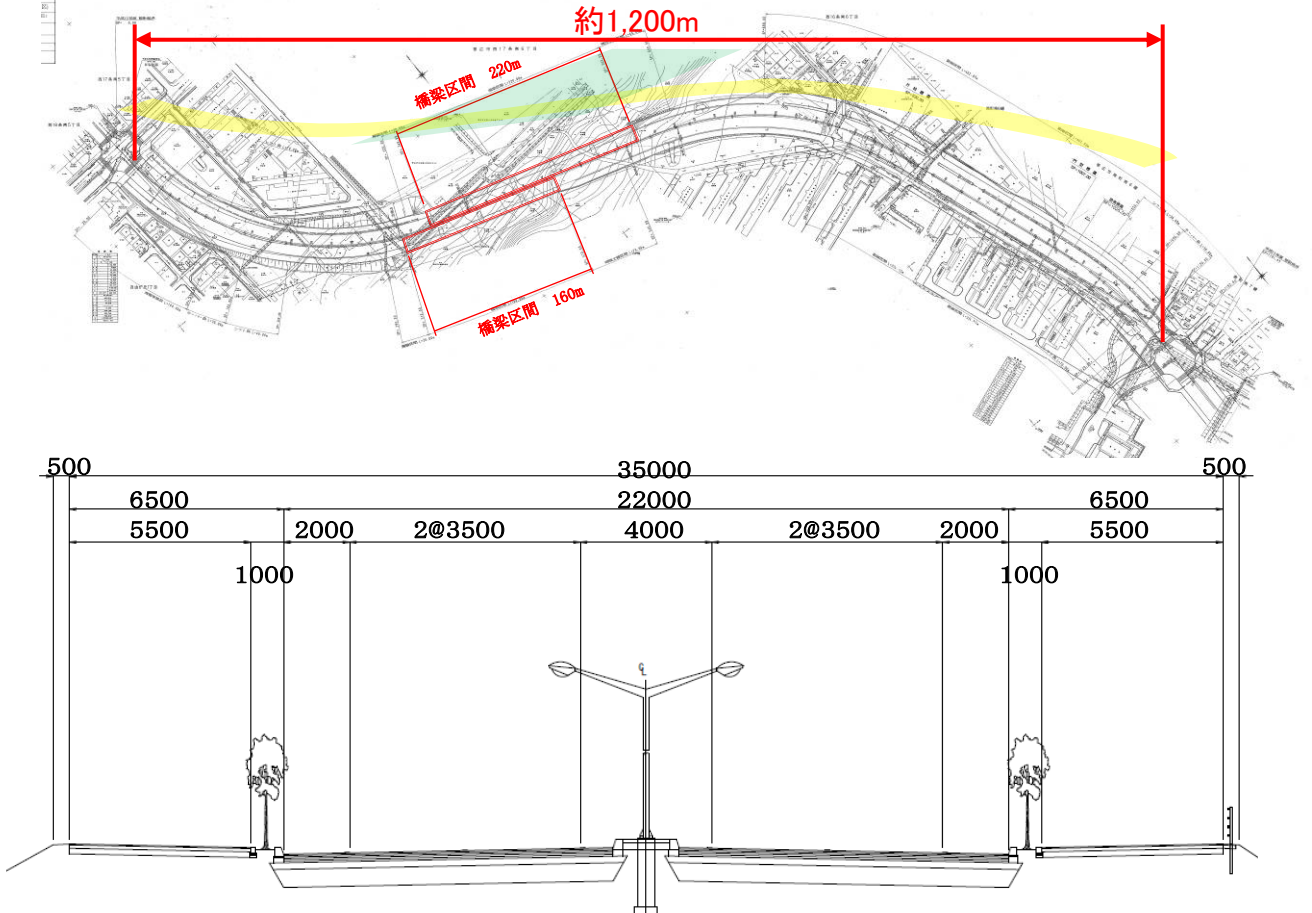
事業実施期間: 平成5年度～平成21年度

本事業は、弥生新道の一部を構成する延長1.2kmの街路を整備したものである。弥生新道計画路線上には、湧水が豊富に湧き出る段丘自然林「若葉の森」があり、事業による湧水(地下水)への影響と、帯広市街地周辺に唯一生息するエゾサンショウウオへの影響が懸念された。このため、地元と協議し、地下水への影響がより少なく、自然環境に配慮した道路形式として、PCウェル工法、送り出し架設工法による橋梁案を採択し、事業実施に至ったものである。

事業位置図



全体図(平面図・横断図)



3・3・46弥生新道の整備効果アピール資料

○事業概要

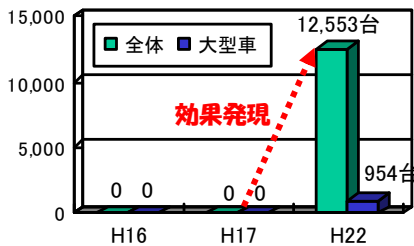
事業名称: 帯広圏都市計画道路事業3・3・46号弥生新道
 路線名: 道道幕別帯広芽室線
 事業箇所: 帯広市西17条南5丁目～帯広市南町南7線
 事業延長: 約1,200m
 幅員: 幅員35～50m(車道22m 歩道6.5m×2=13m)
 事業費: 約73億円
 事業実施期間: 平成5年度～平成21年度



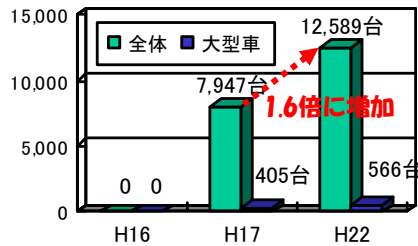
○整備効果(交通量調査結果)

I 弥生新道に交通流を誘導し、大型車等の流通の促進に寄与

[A]交差点の新路線方向の交通量

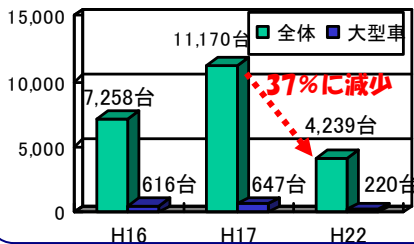


①地点の断面交通量

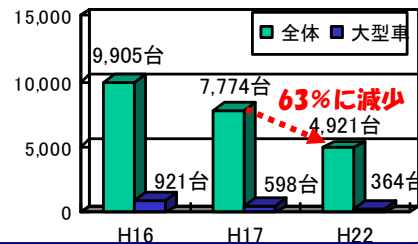


II 競合する通学路など生活路線への通行量の減少に寄与

②地点の断面交通量

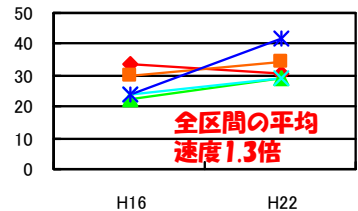


③地点の断面交通量

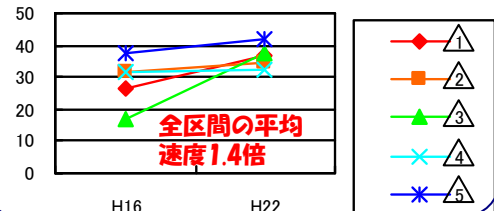


III 競合路線の渋滞を解消し、市内の移動の円滑化に寄与

各区間の旅行速度(朝ピーク時)km/h



各区間の旅行速度(オフピーク時)km/h



○環境への配慮事項

I 生態系の連続性を確保するため工法を盛土から橋梁へ変更

→エゾサンショウウオの生育や植生の生育が確認された

II 伐採樹木の最小化と移植

→移植後の生育は良好

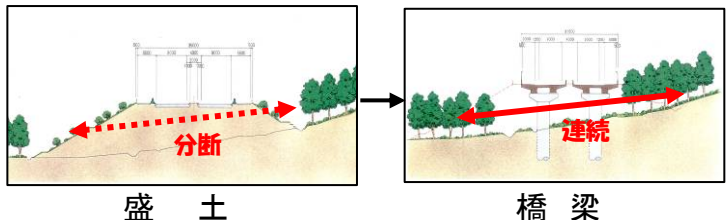
III エゾサンショウウオ産卵場所の整備

→毎年産卵を確認、産卵個数も増加傾向

IV エゾモモンガの往来を促すエコ・ブリッジの架設及び巣箱の設置

→エコ・ブリッジの活用と、巣箱での営巣が確認された

工法の変更(I)



産卵場所の整備(III)



エコ・ブリッジの架設(IV)



事業前写真

平成14年撮影



平成21年撮影

平成21年12月(供用開始前)撮影



撮影位置番号①

撮影位置番号②

事業後写真

平成22年6月撮影

事業箇所全体写真



平成22年11月撮影

道路の利用状況(北端から撮影)



平成22年12月撮影

道路の利用状況(南端から撮影)



平成22年7月撮影

エコ・ブリッジと利用状況



平成22年5月撮影

整備した産卵池と、エゾサンショウウオの産卵状況

